



富士河口湖町教育センターだより



NO.25 平成20年8月発行

《郷土学習会・スキルアップ講座の開催》



教育センター主催の夏休み中の研修として、町内に新しく赴任された教職員対象の「郷土学習会」と、学級経営のQ-Uを勉強する「スキルアップ講座」を開催しました。



8月11日(月)の郷土学習会には34名が参加しました。河口湖フィールドセンターでは館長の渡辺通人先生に富士山の自然の特徴から溶岩樹型の説明等していただき、自然に触れながら動植物の研修を行いました。昼食を摂り、午後は西湖蝙蝠穴の見学と西湖いやしの里根場を見学してセンターへ戻りました。蝙蝠穴では特別研究員の小河原先生が説明を行い、西湖いやしの里根場では事前研修で資料を読み、いやしの里での資料館での詳しい写真等を見学してもらいました。



8月18日(月)のスキルアップ講座は、船津小学校の校内研と兼ねて開催しました。場所も船津小学校の多目的室で行い、44名の参加がありました。講師は禾生第一小学校の浅川早苗先生に、講義と演習という形をお願いしました。Q-U自体はほとんどの先生方が実施もしくは知っているとのことで、講義はどのように活用するのか、K-13法の基礎と詳しい手順の内容が話されました。今回は実際のQ-Uの結果を全員で分析する方法で演習を行い、クラスの実態説明を担当が行い、グループに分かれてブレインストーミングを実施しました。グループの活動もとても積極的・活発に行われ、発表と今後の目標が示されました。

多くの先生方に参加していただきました。来年度も実施していきたいと思えます。



* 参加者の声 *

どの体験も貴重なものとなりました。様々な先生方とも交流を深めることができてよかったと思います。町には貴重で素晴らしい自然がたくさんあることや子ども達が学習できる環境がたくさんあることを知りました。2学期からの学級経営の参考になりました。色々な先生方の学級経営が伺えてよかったです。現状を維持できること、少しでも気になる子が満足に行けるように頑張りたい。